

地域医療特別演習Ⅴ

(Introduction to Community Medicine Ⅴ)

第5学年次(地域枠推薦学生対象)

【責任者/担当者】

〔兵庫医科大学〕平野 公通 臨床教育統括センター副センター長・卒後研修室長

【担当者】

〔医学教育センター〕蓮池 由起子 医学教育センター長、今西 宏安 准教授、
庄司 拓仁 講師

〔医学教育学〕柏 薫里 講師

〔ささやま医療センター〕藤岡 宏幸 病院長、担当教員

【目的】

地域枠推薦入学学生について、卒前・卒後連携して地域医療の専門医を養成し、将来地域医療教育の指導医となる資質を涵養する。

【科目キーワード】

「地域医療 (community medicine)」「家庭医学 (family medicine)」「老人保健施設 (generic healthcare services facilities)」「総合診療 (general medicine)」「プライマリケア (primary care)」

【到達目標(アウトカム)】

- 地域医療の第一線であるささやま医療センターで実習を行い、総合診療ならびにプライマリケアの素養を涵養し臨床能力を向上させる。
- 地域医療に従事する医師から話を伺い、地域医療の意義や課題などを知る。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・安心・安全な医療に強い使命感と自律性を有し、優れた協調精神を持ってチーム医療の一員として社会の福祉に奉仕できる良医となるべき素養を有している。
- ・医療を取り巻く社会経済的動向を把握し、地域医療の向上に貢献するとともに、地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力できる。
- ・人体や疾病に影響を与える社会的な要因や背景について理解し、支援扶助の社会的仕組みについて理解している。

【概要ならびに履修方法】

5年次4週間の実習の内科2部門もしくは6年自由選択実習A日程(4週間)のうち1回をささやま医療センターで行う。実際の実習内容はささやま医療センターから指示する。

【準備学習ならびにそれに要する時間】

篠山市について事前に調べ、人口、地勢、医療体制などの情報を得ておくこと。1～2 時間は必要。

【成績の評価方法・基準】

ささやま医療センターの評価は臨床実習評価に含める。欠席ならびに態度不良の場合は臨床実習評価より5点を減ずる。

【学生への助言】

紹介状を持たない外来患者さんの経験できる貴重な機会である。積極的な姿勢で臨み、4週間のクリニカルクラークシップで総合診療の力を伸ばしてほしい。

【フィードバック方針】

各臨床実習に準ずる。

【オフィスアワー】

設定しない。

【受講のルール、注意事項、その他】

真摯な態度で参加すること。

宿舎の使用法に注意。臓器別補習講義の項を参照のこと(ささやま医療センター宿舎ルール違反・マナー違反は-5点である)。

【教科書】

特に設定しない。

【参考書】

特に設定しない。

【連絡先】

ささやま医療センター(079-552-1181)担当:管理課庶務係